



「老いるということ」を読んでいただいた方々へ

今回は「老いるということ」に目を通していただき、ありがとうございました。

エッセイを公開したあとに、テレビでお年寄りが「iPad」の講習会で目をキラキラしながら熱くなっている姿がありました。

エッセイの後半で「お年寄りに情報端末を使ってほしい」と書きましたがまさに画面を触りながら、拡大したり縮小して新聞を読んでいた。それはそれはうれしそうに「最近小さい文字がよめなくて。これすごくいい。覚えたい」と無邪気に操作を楽しんでいました。さらに、一人でなく囲碁や将棋のゲームも講習会の参加者同士で楽しんでいる姿もありました。

講習会に参加した人たちは日頃も積極的な人生を過ごしているとは思いますが、「この端末、安否確認や緊急時お知らせなどの行政にも役立つのでは」と、思いました。

さらに見たり、聞いたりキーボードを打ったりと指先を使うことで脳に刺激を与えて、元気を取り戻せるように感じました。

「老い」を楽しみ、「老い」を祝う日本の文化が名実共に実現できる日が来てほしいですね。